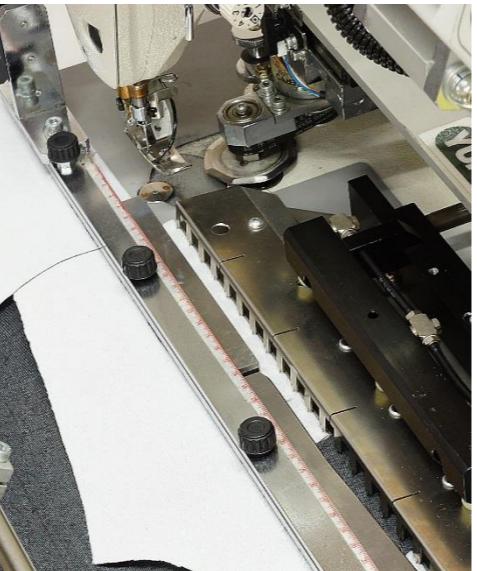


表面セット&水平カッター付き
NC 胸ダーツシーマー[®]
(マーキングライト 2 灯及び自動寸法計測装置付)
Model U-4001-D/350



<http://www.yuhomac.com>



【仕様】

★ 使用頭部	JUKI DDL-9000B-SH (高速 1 本針本縫い 自動糸切ミシン)
★ ミシン速度	最高 4,500 rpm
★ 使用針	DB #14 (Nm 90)
★ 収縫い仕様	縫い始め 縫い終り
	返し縫い ショーティング、または返し縫い
★ 下糸巻き装置	頭部内蔵式
★ 頭部駆動	AC サーボ ダイレクトドライブ
★ XY 駆動	パルスモーター駆動制御
★ 最大縫い長さ (mm)	350 mm
★ 最大ダーツ深さ (mm)	12 mm
★ プレート前後ストローク (mm)	250 mm
★ 押さえ上がり量 (mm)	20 mm
★ カッター装置	DC モーター駆動 50φ 丸刃カッター
★ 液晶画面	LCD タッチパネル
★ テーブル高さ (mm)	940 mm
★ 消費電力	200 V / AC 700 VA
★ 消費エアー	0.5 MPa, 20n/min.
★ 本体寸法 (mm)	W 1,300 x D 1,100 x H 1,300 mm

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

【主な装備】

- ★ 液晶タッチパネル
- ★ 上押さえ付き大型供給プレート
- ★ 大型バキュームプレート
- ★ マーキングライト 2 灯、及びダーツ寸法自動計測装置
- ★ XY 駆動 NC 制御
- ★ 丸刃水平カッター(研磨石付き)
- ★ カッター装置切埃自動吸引装置
- ★ カッター上下・前後調整機能
- ★ テーブル上下調整機能
- ★ インバーター装置付きバキュームモーター
- ★ さばき付きスタッカーディスク
- ★ 当て定規付きキーパー装置
- ★ 糸切れ検知装置(T.B.D.)
- ★ ブレーキ付きキャスター
- ★ エアーガン

【能力】

★胸ダーツ 2,400 ダーツ/ 8h

● 製造元



株式会社 友縫機械
since 1968

〒451-0053 名古屋市西区枇杷島 5 丁目 3 番 1 号

Tel: 052-522-6276

Fax: 052-531-9270

Email: yoho@yuhomac.com

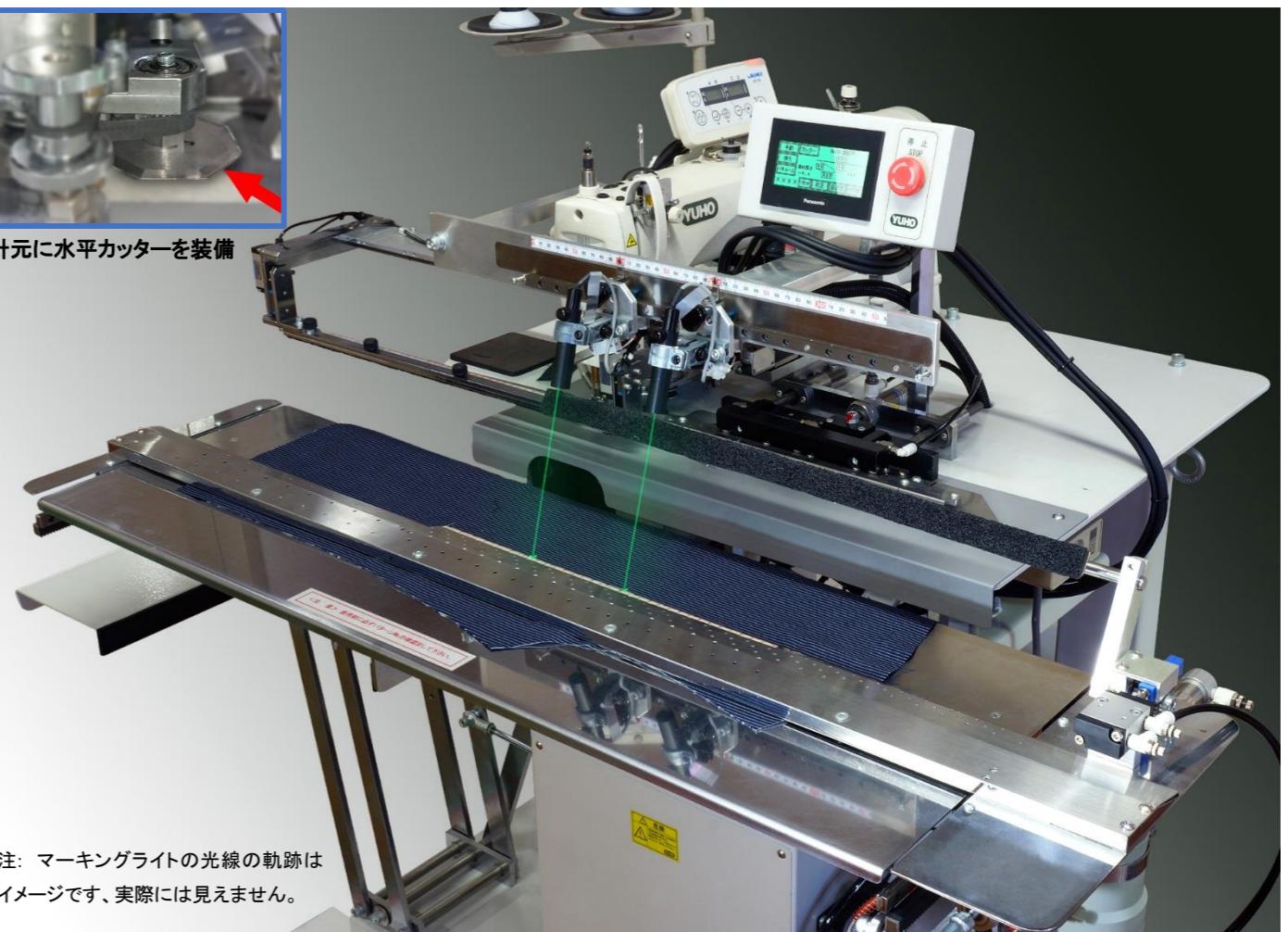
URL: <http://www.yuhomac.com>



<http://www.yuhomac.com>



針元に水平カッターを装備



特許 2879424 号

ダーツ自動寸法計測装置を新搭載。
イージーオーダーダージャケットに最適な、
表面セット方式と水平カッター装備の NC 胸ダーツシーマー

1 枚 1 枚異なる胸ダーツ寸法を、マーキングライトでマーキングポイントに手動で合わせるだけで、自動で縫い長さを設定できるようにしました。

二つ折りで縫われたダーツは、折り部にカッターが入って切り開きを行ない、剣先部には当て布を、縫うと同時に挿入可能。

表面セット仕様なので、素材のセット時は表面を見ながらダーツ位置の確認ができ、タテ縫いの素材等では特に立て縫いに従った正確な位置へのダーツ縫いが行えます。また、当て布の付ける方向は右身頃では内々側に入れます。



YUHO SEWING MACHINE

作成 2020.01

表面セット&水平カッター付き

NC 胸ダーツシーマー

(マーキングライト2灯及び自動寸法計測装置付)

Model U-4001-D/350



画期的な NC 制御の胸ダーツ自動機

従来のレールやガイドレールなど、ゲージを使用したダーツ縫いとは異なり、コンピューターによりあらゆるサイズと形状を演算し、角度を割り出す数値制御で全てのダーツ縫いに対応する、画期的な NC 制御の自動機です。

胸ダーツのシームパターンでは、従来の直線シームラインではなく、インカーブ、またはアウトカーブ等自由に描くことができます。

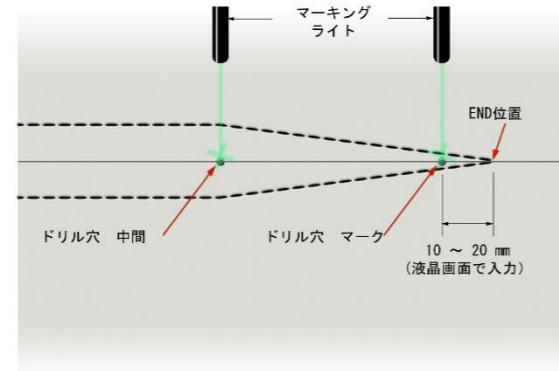
細く尖った剣先ダーツの縫い始め、及び縫い終わりには、エクボが生じない綺麗な“くの字”ダーツ縫いができる縫い消し制御を搭載。これは YUHO の独自技術です。

ダーツ自動寸法計測装置



イージーオーダーなどでは、1着1着寸法と形状が異なるダーツ縫い。ダーツの中間ポイント、及び縫い終わり位置に対し、2灯あるマーキングライトを、素材に開けられたドリル穴に合せるだけで、ダーツの縫い長さが自動でセットできるようになりました。(注:ダーツの深さは別途設定が必要です。また、本機では切り込まれたポケット口を基準に素材をセットする

方式のため、縫い始め位置用マーキングライトが不要です。)

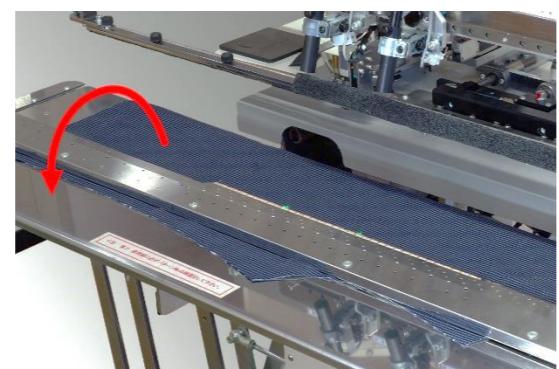


例) 全長(ポケット口から END 位置=ゼロポイント)が 300mm のマニピュレダーツで、中間点がポケット口から 200 mm、END 位置のドリル穴(マーク点)は、実際の END 位置から 10 mm 手前に逃がしてあり、結果、中間点からマーク点までの距離が 90 mm だった場合。予め液晶画面に 10mm と入力しておき、あとはオペレーターが、寸法を全く意識せず、単に中間点とマーク点のドリル穴にマーキングライトを合わせるだけで、正確に全長 300 mm のダーツを縫うことができます。



ドリルホール設定画面

縫縫に沿って正確なセットが可能な折込装置と、当て布を保持する上押さえ保持装置

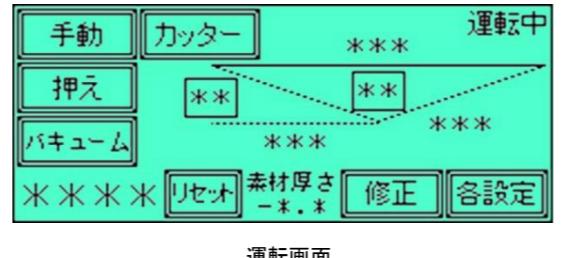


全面接着で芯貼りされた素材を、表面でポケット口を基準にセットするため、格子柄や縫縫模様でも、縫目に沿って正確に位置合わせを行うことが出来ます。また、合わせた位置をずれることなく正確に折り込む折込装置及び素材反転装置が素材全体を反転させ、上押さえ保持装置により部分的、または全体に当て布の挿入を確実に行なうことが出来ます。操作が大変簡単な上、完全手離して針元への自動供給が行われるのが本機の大きな特長です。

ダーツの剣先も素材の厚さに応じて、0.1 mm 単位で微量な設定をワンタッチで行え、正確でシャープなダーツ剣先が得られます。

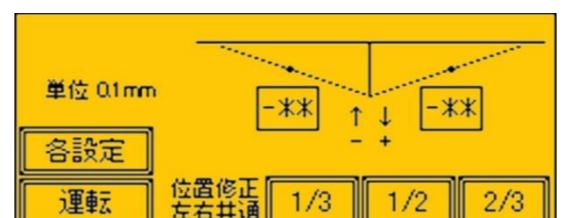
液晶タッチパネルにより
様々なダーツの形状がワンタッチ

本機は全ての体型:Y 体 3 号から 9 号まで、YA 体・A 体・AB 体・B 体 3 号から 9 号まで、また特大サイズまで全てのサイズを十分カバーできるダーツ寸法の取り扱いが可能。ダーツ長さは自動寸法計測装置により数値入力が一切不要、タッチパネルで入力するのはダーツ深さのみです。

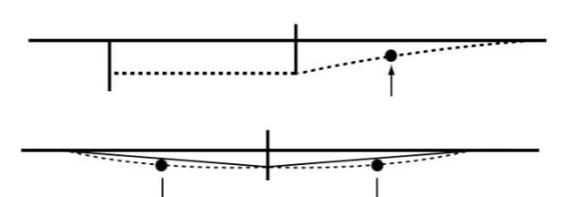


運転画面

ダイヤダーツの形状でのアウトカーブ、マニピュレダーツ等のインカーブといったラインの形成に関しては、カーブの強さ、中間位置の左右移動といった微調整がタッチパネルで自在に行なえます。



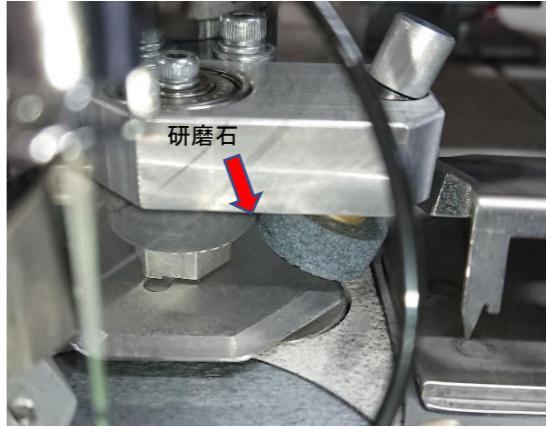
中間修正画面



丸刃水平カッターがダーツを切り開き

芯地を貼られた素材は大変厚くなるため、縫われたダーツの切り開き、縫い目割りが求められます。このような難工程も、丸刃水平カッターが完璧に解消、縫われたダーツを剣先 1mm の深さまで切り開きます。この丸刃カッターは切り開き深さ、または素材の厚さに合わせて、カッター位置の微調整がワンタッチで行えます。この丸刃カッターの材質には高速

度鋼を採用、耐久性に優れ、脱着や研磨も容易、かつ研磨石を標準装備することで、切れ味の良い状態を常に保つことが可能です。



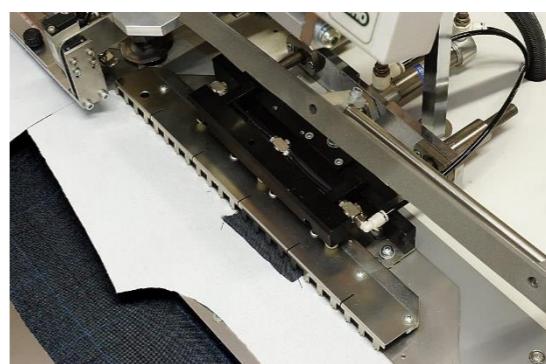
高さ合わせ自在なテーブル面



テーブル面の高さや水平調整は、供給プレートに合わせ、あるいは、折り込み時の素材の厚さに合わせて、自在に設定が行えます。

カッター装置は ON/OFF 選択可、
キーパーは厚薄問わず確実にキャッチ

1 枚の板バネ材で構成されたキーパー装置は微細なダーツ剣先部も正確に保持し、薄物から厚物素材まで確実に保持します。水平カッターの使用は ON/OFF を自由に選択でき、従来の、芯地がない薄物素材から、全面当て布挿入のダーツまで、きれいな剣先部の胸ダーツ縫いが安定して行えます。



大きな素材に対応すべく、全てを大型化

素材の拡大化傾向に呼応し、バキュームのセットプレートを 80 x 900 mm に大型化し、前後ストロークも 250 mm に延長。ダーツ縫いの深さは最大 9 mm ら 12 mm に変更し、縫い長さは最大 350 mm までカバーします。素材のセットは、強力なバキュームプレートと上押さえ装置により、確実に保持されたまま針元に送られます。セット後は一切手を添える必要がなく、機械が正確な長さと深さのダーツ縫いを自動で行い、その後スタッカーラインにより自動で積み重ねが行われます。



芯貼り対応さばきバー付きスタッカーライン

新型さばきバー付きスタッカーラインは、厚地素材や、全面接着身頃でも、きれいに揃えて積み重ねます。丈が長いもの、あるいは、特に短いものでも、切り替えスイッチにより作動タイミングを変更することで、確実なスタッキングが行えます。自動縫い工程と、次の素材のセット工程がオーバーラップでき、初心者でも高能率・高精度なダーツ縫いが行えます。記憶容量の大きなコンピューターにより、確実な制御と数々のメンテナンスがなされ、万一の糾き時も機械が自動検知→自動停止し、ロスを最小限に留めます。

ワンタッチで脱着、
メンテナンスが容易

本機は保守、点検等メンテナンスにも最大の配慮がされており、キーパー定規は簡単に脱着可能、ミシン頭部もワンタッチで倒すことが出来るなど、自動機としての使い易さについて、隅々まで細かく配慮された設計がなされています。